

令和 4 年 8 月 26 日

東京都日野市でレジ袋削減のための実証実験(レジごみ袋の導入)  
～ 明星大学デザイン学部の学生発案！デザイン・PR 方法を活かした  
スーパーマーケット及びコンビニエンスストアにおける実践 ～

東京都日野市  
学校法人明星学苑 明星大学  
イオンリテール株式会社

東京都日野市(市長:大坪冬彦)と、明星大学(住所:東京都日野市、学長:落合一泰)、イオンリテール株式会社(住所:千葉県千葉市、代表取締役社長:井出武美)は、日野市が推進するプラスチック削減の取り組みのひとつであるレジ袋の削減を目的とした「レジごみ袋」の導入及び販売の実践を協働で実施します(令和 4 年 9 月から開始)。

「レジごみ袋」はマイバッグを忘れた時やマイバッグに入りきれない買い物をした時などにレジ袋代わりに使える新たな市の指定収集ごみ袋です。レジ袋を断り指定収集袋として活用できる「レジごみ袋」を購入することで、プラスチック袋が 2 枚(レジ袋、指定収集袋)から 1 枚(レジごみ袋)に半減し、環境負荷が軽減します。

明星大学デザイン学部の学生によるレジごみ袋のデザイン及び販売促進の提案を取り入れ、市内に店舗を有するイオンスタイル多摩平の森と市内のセブン-イレブン店舗においてレジごみ袋を販売いたします。

なお、産官学連携での指定収集袋のデザイン・販売は全国初の取り組みとなります。

◆本取り組みの背景

法令改正により令和 2 年 7 月から、全国でレジ袋の有料化がスタートしましたが、日野市では、平成 20 年から市内全スーパーを対象にレジ袋の有料化に向けた取り組み(マイバッグ運動)を継続実施してきました。長年のこの取り組みは、令和 2 年度に環境省が実施した「みんなで減らそうレジ袋チャレンジ」の自治体・団体部門で優秀賞を受賞しました。今年 4 月からプラスチック資源循環法が施行され、環境保全に関する取り組みの重要性は増すばかりです。

日野市では、レジ袋有料化により、レジ袋辞退率は 53.4%から 85.6%に大幅に上昇し、これらの取り組みをさらに発展させるため、デザインの良い指定収集袋であればレジ袋を辞退するとの聞き取り調査の結果をもとに、明星大学デザイン学部に協力を依頼し、大学生 15 人が検討を重ね、デザイン案を制作しました。

このレジごみ袋をイオンリテール株式会社と市内のセブン-イレブン店舗において販売することにより、さらなるレジ袋(プラスチック)の削減と市民の環境意識の向上を推進してまいります。

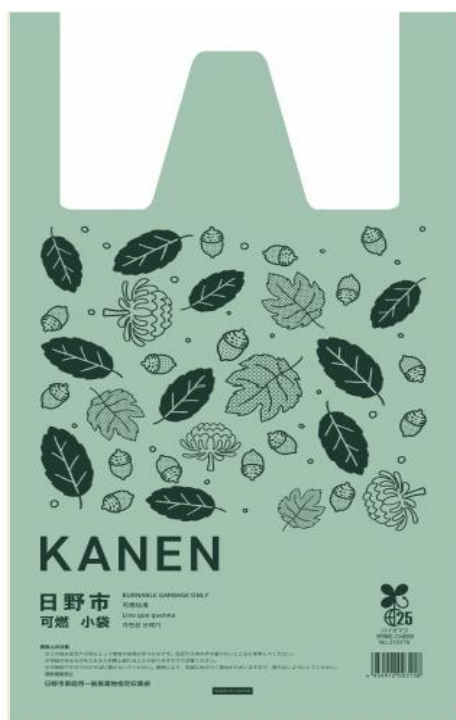
◆本取り組みの内容

日野市では、マイバッグ持参によるレジ袋辞退率 100%を目指す姿勢は変わりませんが、持参忘れやマイバッグに収納しきれない場合など、やむを得ずレジ袋を購入する際に、レジ袋を断り指定収集袋として活用できる「レジごみ袋」を購入することで、プラスチック袋を 2 枚から 1 枚に半減させ、環境負

荷を軽減することを目的としています。また、「レジごみ袋」のデザインについては、大学生の柔軟な発想を取り込むことで、市民に親しまれるデザイン性にも配慮したものとなっております。

#### ◆「レジごみ袋」のデザインコンセプト及び販売種類・サイズ等

レジごみ袋のデザインは、本プロジェクトに参加してくれた明星大学デザイン学部の学生による 15 作品の中から、日野市職員(308 人)及び提案学生(15 人)の投票により、下記の作品に決定いたしました。



#### かわいく隠すレジ・ゴミ袋

- 市の花と木、菊と菊の葉、かしの葉のイラストを使用
- イラストや文字で中身を隠しつつ見やすいデザインに
- ポップなイラストでゴミ袋らしさを軽減
- 可燃をローマ字表記にし、レジ袋使用時の抵抗を減らす
- 文字を下に配置し、持ち帰り時に主張しないレイアウト

種類	可燃袋	サイズ	レジ袋として活用しやすい小袋(10リットル)
金額	通常のごみ袋と同一額で1枚20円(ばら売り)		
材質	高密度ポリエチレン(HD-PE) 植物性由来バイオポリエチレン(Braskem)25%		
数量	30,000 枚作成		

#### ◆実証実験の予定

実証実験は令和4年 9 月から、イオンスタイル多摩平の森及び市内セブン-イレブン店舗で販売を開始します(9 月 1 日から順次販売を開始)。

なお、実証実験期間としては、市民への周知及びレジごみ袋の浸透を図るため、令和 6 年 3 月までを実験期間とし、検証結果をふまえて今後の対応を検討予定です。

#### ◆今後の予定

今回の取り組みは、実証実験として取り組むものです。取り組みを進めながら、市民や販売店舗での意見のヒアリングを行い、既存の指定収集袋のデザイン変更も含めて、市民の利用しやすさに加えて、プラスチックごみ削減に資する指定収集袋の今後の施策展開にどう繋げていくか検討を進めてまいります。